



第3次 豊川市生涯学習推進計画改訂版

一心に彩り 体に潤い 絆で結ぶ とよかわの生涯学習-

令和3年度~令和7年度



豊川市では、平成28年3月に「第3次豊川市生涯学習推進計画」を策定し、時代の変化とともに、多様化する市民の学習ニーズに応じた学習機会や学習環境の整備などの取り組みを行ってきました。この計画の策定から5年が経過する中で、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展など本市の生涯学習を取り巻く環境も多様化し大きく変化してきています。そこで、計画期間の中間見直しにあたり、上位計画である「第6次豊川市総合計画」や国・県の動向、社会・経済情勢等の変化、令和元年10月に実施した生涯学習に関する市民アンケートの結果などを踏まえ、新たな時代における生涯学習施策を展開するため、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「第3次豊川市生涯学習推進計画改訂版」を策定しました。

1.基本理念

学びが創る ひと・まち・未来

第6次豊川市総合計画のまちの未来像「光・緑・人 輝くとよかわ」や教育・文化分野の目標「あらゆる世代の人が豊かな心を育んでいるまち」を実現していくことを目的として基本理念を定めます。

2.基本目標

豊かな人生を自らが築く学習社会を確立します

学びの循環イメージ

学びを生かしたまちづくり

学びを育む きっかけづくり

> 学びを通した 人づくり

豊川市教育振興基本計画の4つの基本目標のうち、主に生涯学習分野の目標である「豊かな人生を自らが築く学習社会を確立します」を本計画の目標とします。

3.施策の方向性

この計画では、基本目標の実現に向けて、次の3つの施策の方向性に沿った施策体系を定め、学びの循環を促します。

施策の方向性1 学びを育むきっかけづくり

「市民の多様なニーズに対応した学習メニュー・学習機会・ 学習情報の提供や、学びの場の充実といった、生涯学習の きっかけづくりとなる施策が相当します。」

施策の方向性2 学びを通した人づくり

「学習成果の発表や、社会参加を通じた人づくり、学びの循環や仲間づくりを通じた人づくりに 関する施策が相当します。」

施策の方向性3 学びを生かしたまちづくり

「あらゆる世代において、学びが自己の生活を豊かにするだけでなく、その学習成果が地域の教育力の向上や、地域づくり、まちづくりに生かすために必要な施策が相当します。」

4.計画の位置づけ 第6次豊川市総合計画 第2期豊川市教育振興基本計画 教育基本法 豊川市の関連計画 玉 • 第3期教育振興基本計画 • 第2期豊川市 • 中央教育審議会答申 第3次 スポーツ振興計画 豊川市生涯学習 • 豊川市図書館基本計画 • 第2次豊川市子ども 推進計画改訂版 読書活動推進計画 第2期愛知県生涯学習 など 推進計画

5.計画の体系

★印は本改訂版で変更した施策です。

基本 目標

豊かな人生を自らが築く学習社会を確立します

施策の 方向性

推進方策

具体的施策

学びを育むきっかけづくり

多様なニーズに対応した 学習メニューの展開

- ①子ども向けの各種体験講座·教室の開催
- ②学びを広げる市域生涯学習の推進
- ③地域の特性を生かした地域生涯学習の推進
- ④現代的課題に対応した学習機会の充実
- ⑤民間団体・民間事業者との連携

ライフスタイルに合わせた 学習機会の提供

- ①ワーク・ライフ・バランスに配慮した学習機会の提供
- ②子育て世代が参加しやすい学習機会の提供
- ③定年退職者やアクティブシニアへの学習機会の提供

学びを広げる学習情報・ 学習機会の充実

- (1) 高齢者の生きがい・健康づくりのための学習機会の提供
- ②障害者に配慮した学習機会の提供
- ★③効果的な学習情報の提供と相談体制の充実
 - ④様々な学びを支える図書館サービスの充実
 - ⑤スポーツや健康づくりに関する学習機会の充実

学びの場の充実

- ①生涯学習関連施設の利便性向上
- ②学校を中心とした地域の拠点づくり
- ★③複合施設における連携した事業の推進

学習成果の発表の場の 充実

- ①学びの成果を確認する機会の充実
- ②発表の場の充実と交流の推進
- ③伝統文化や文化芸術の発表の場の提供

若者の学びと社会参加の 推進

- ①キャリア教育機会の充実
- ②若者の社会参加の推進
- ③子ども・若者育成支援の推進

学びの循環による人づくり

- ①地域の教育力を支える講師・指導者の育成
- ②中高年による高齢者の支え手の育成
- ③学習成果を活用する機会の充実

仲間づくりのための活動 支援

- ①各種講座·教室の自主サークル化の推進
- ②ボランティア活動につながる人材育成支援

学習成果の実践の場の

- ①生涯学習活動と市民活動との連携
- ②学習活動が市民協働につながる仕組みづくり

充実 家庭・学校・地域との

- ①青少年健全育成を通じた地域との連携
- ②学校・家庭・地域との連携による地域教育力の向上支援

子びを生かしたまちづくり

学びを通した人づくり

学習成果が生きる まちづくりの支援

連携強化

- ①事業成果の評価と活用
- ②地域の生涯学習施設を拠点としたまちづくりの支援
- ③郷土理解と文化芸術の創造による地域づくりの支援
- ④まちづくりにつながる人材育成と活動の場の充実

6.生涯学習の推進に向けて

1.生涯学習の推進に向けた役割

本計画の推進にあたっては、行政内の連携を強化するとともに、市民や地域、学校、関係機関等が互いに連携を図り、それぞれが主体的に生涯学習活動に取り組んでいくことが重要です。そのため、「市民」、「地域関係団体・機関等」、「行政」の主体ごとの役割に基づき、相互に連携し、円滑に計画を推進していきます。

2.計画の進行管理

計画の進行管理はPDCAサイクルを用いて、「PLAN(計画)」⇒「DO(実施)」⇒「CHECK(点検・評価)」⇒「ACTION(改善)」といった流れで行います。また主要施策について評価指標を設けることにより、計画を具体的に検証できるようにします。



3.評価指標

本計画で掲げた基本目標が、どの程度達成できているかを測るための客観的な指標として、総合計画の指標としている2年に一度の全市的な市民意識調査の結果や、各種事業実績、他の部門計画に掲げられた評価指標等を参考としながら、推進方策別に次のように評価指標を設定しています。

なお、計画期間は令和7年度までですが、計画の見直し作業の都合から、評価指標の目標年度 を4年後の令和6年度としています。

指標項目	現状値 (H26年度)	現状値(R1年度)	目標 (R6年度)
とよかわオープンカレッジの通常講座の年間開設数	284講座	280講座	370講座
生涯学習を行っている市民の割合(総合計画)	60.5%(H27年値)	58.8%	65.0%(R7年値)
とよかわオープンカレッジ、親子ふれあい工房、 地域生涯学習講座の親子向け講座の開設数	58講座	112講座	120講座
市民一人当たりの図書等貸出冊数(総合計画)	6.7冊(H27年値)	6.1冊	7.0冊(R7年値)
週1日以上スポーツや運動をしている市民の割合(総合計画)	41.6%(H27年値)	44.4%(R1年值)	62.0%(R7年値)
プリオ生涯学習会館の利用率(時間帯平均稼働率)	38.7%	38.0%	45.0%
生涯学習成果発表会の参加団体数	20団体(全2回)	7団体(全1回)	30団体(全2回)
子ども・若者の悩みに関する少年愛護センター相談件数	140件	292件	350件
とよかわオープンカレッジ通常講座の開講講座の講師数	209人	182人	260人
地区市民館・公民館・生涯学習会館におけるサークル数	766サークル	782サークル	800サークル
地域の課題解決のために開催する地域生涯学習講座の講座数	25講座	51講座	60講座
学校の日の参加者数	61,635人(全3回)	43,551人(全2回)	<u></u> ※R2で終了
地域生涯学習講座における文化財・芸能分野講座数	48講座	66講座	70講座

第3次豊川市生涯学習推進計画改訂版 概要版

発 行●令和3年3月

発 行 者◎豊川市

企画·編集●豊川市教育委員会 生涯学習課 〒441-0292 豊川市赤坂町松本250番地 電話 0533-88-8035